

# 強い地震や長い揺れを感じたら高台へ

# 日向市津波ハザードマップ (簡易版)

この津波ハザードマップは、津波災害時の避難の目安となるように本市において想定される最大クラスの津波の浸水域、浸水深および津波避難場所を示しています。

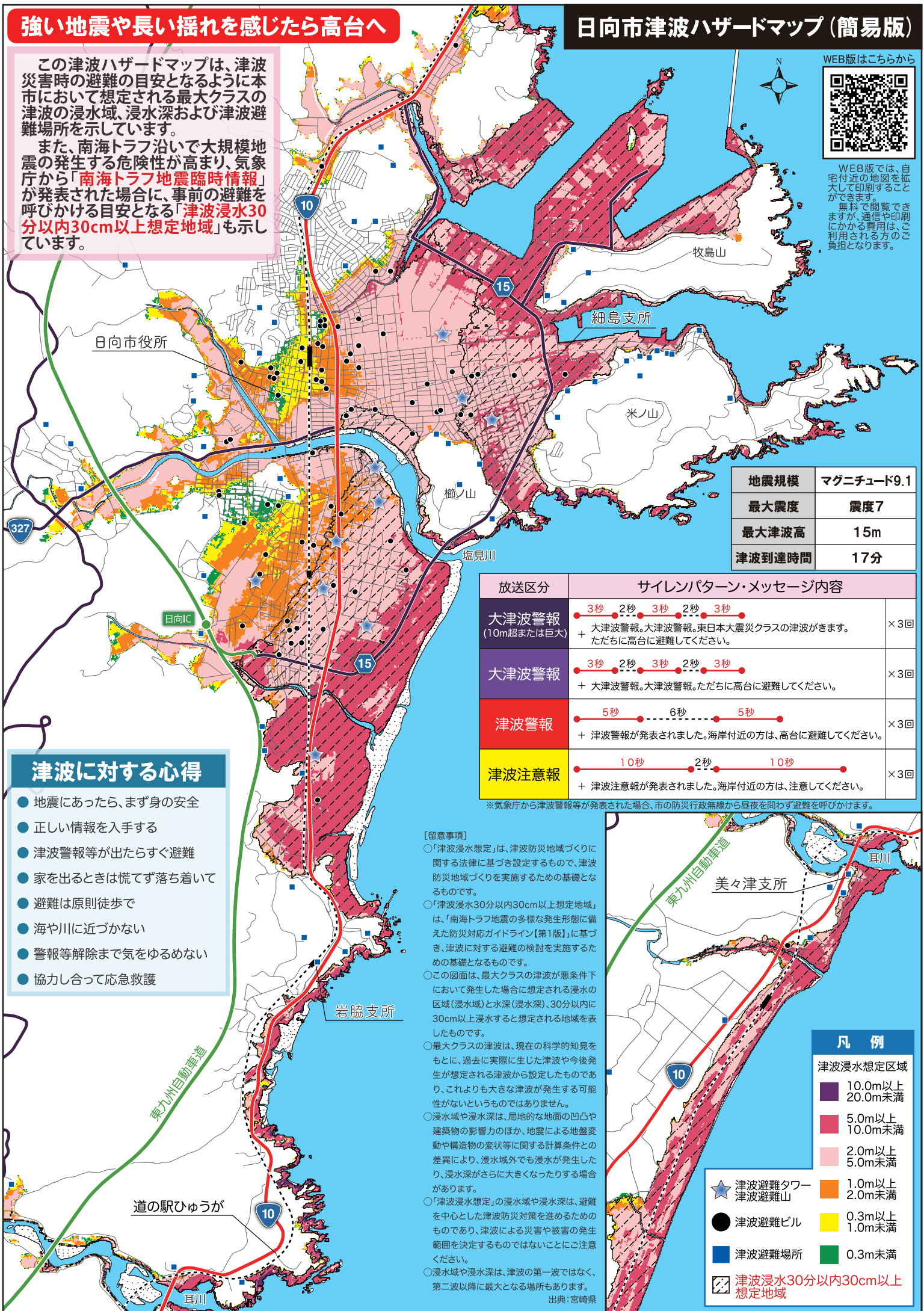
また、南海トラフ沿いで大規模地震の発生する危険性が高まり、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合に、事前の避難を呼びかける目安となる「津波浸水30分以内30cm以上想定地域」も示しています。

WEB版はこちらから



WEB版では、自宅付近の地図を拡大して印刷することができます。

無料で閲覧できますが、通信や印刷にかかる費用は、ご利用される方の負担となります。



地震規模	マグニチュード9.1
最大震度	震度7
最大津波高	15m
津波到達時間	17分

放送区分	サイレンパターン・メッセージ内容	回数
大津波警報 (10m超または巨大)	3秒 2秒 3秒 2秒 3秒 + 大津波警報。大津波警報。東日本大震災クラスの津波がきます。ただちに高台に避難してください。	×3回
大津波警報	3秒 2秒 3秒 2秒 3秒 + 大津波警報。大津波警報。ただちに高台に避難してください。	×3回
津波警報	5秒 6秒 5秒 + 津波警報が発表されました。海岸付近の方は、高台に避難してください。	×3回
津波注意報	10秒 2秒 10秒 + 津波注意報が発表されました。海岸付近の方は、注意してください。	×3回

※気象庁から津波警報等が発表された場合、市の防災行政無線から昼夜を問わず避難を呼びかけます。

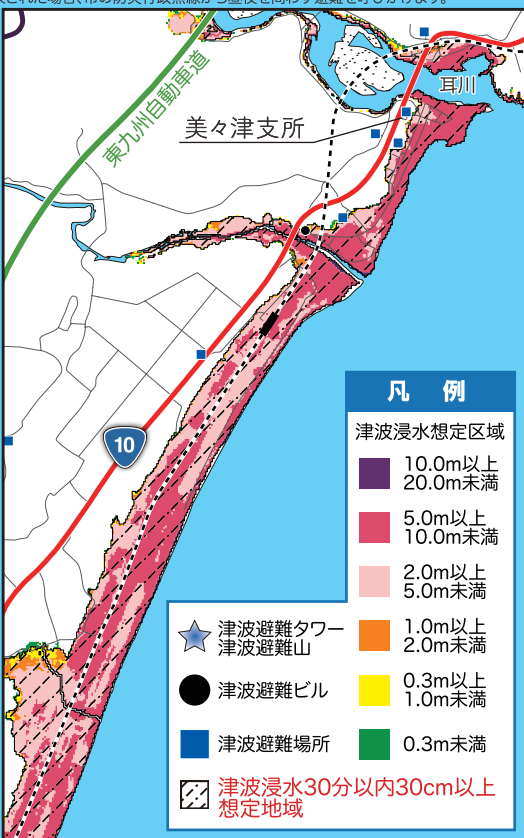
## 津波に対する心得

- 地震にあったら、まず身の安全
- 正しい情報入手する
- 津波警報等が出たらすぐ避難
- 家を出るときは慌てず落ち着いて
- 避難は原則徒歩で
- 海や川に近づかない
- 警報等解除まで気をゆるめない
- 協力し合って応急救護

### 【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律に基づき設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水30分以内30cm以上想定地域」は、「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応ガイドライン【第1版】」に基づき、津波に対する避難の検討を実施するための基礎となるものです。
- この図面は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)、30分以内に30cm以上浸水すると想定される地域を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見をもとに、過去に実際に生じた津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局地的な地面の凹凸や建築物の影響力のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

出典：宮崎県



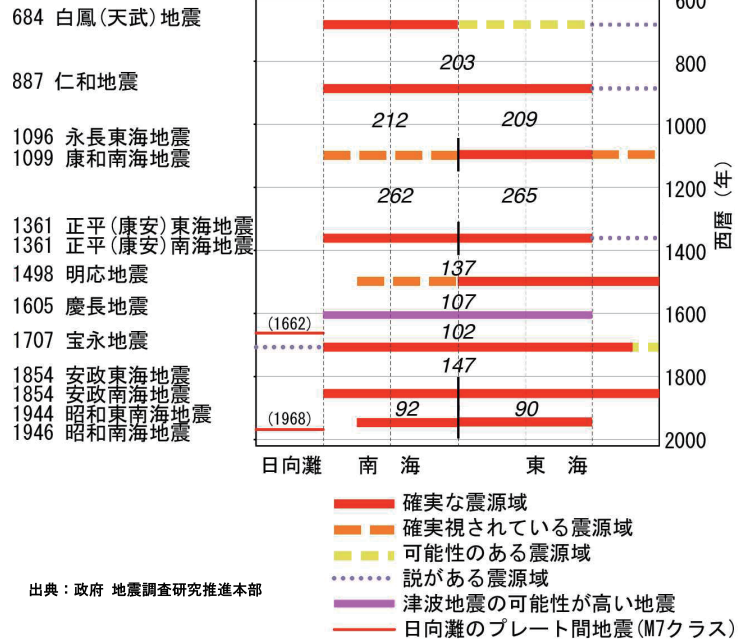
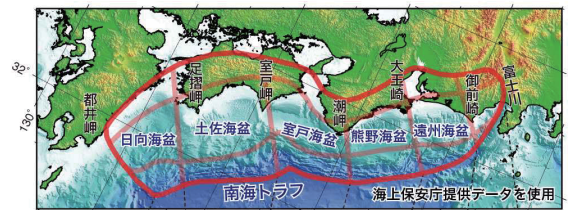
凡例	
津波浸水想定区域	
10.0m以上 20.0m未満	(Dark Purple)
5.0m以上 10.0m未満	(Red)
2.0m以上 5.0m未満	(Light Red)
1.0m以上 2.0m未満	(Orange)
0.3m以上 1.0m未満	(Yellow)
0.3m未満	(Green)
津波避難タワー	(Blue Star)
津波避難山	(Blue Star)
津波避難ビル	(Black Circle)
津波避難場所	(Blue Square)
津波浸水30分以内30cm以上 想定地域	(Hatched Box)

※この津波ハザードマップは、国土交通省国土政策局「国土数値情報」をもとに日向市が編集・加工して作成しています。

# 南海トラフ地震とは？

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返してきた大規模地震です。

前回の南海トラフ地震が発生してから70年以上が経過した現在では、30年以内の発生確率は70～80%とされ、次の南海トラフ地震発生切迫性が高まっています。

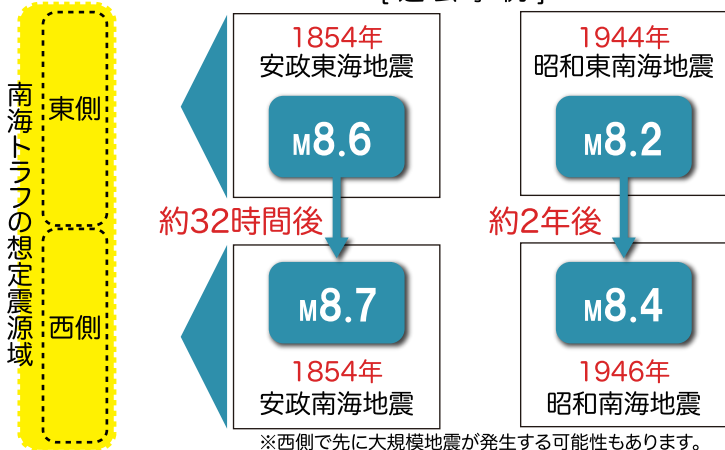


出典：政府 地震調査研究推進本部

# 地震は時間差で起きる場合も

※イメージ

[過去事例]



# 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）と防災対応の流れ

南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。

臨時情報が発表された場合には、市民の皆さんが、日頃からの備えを再確認するとともに、一定の期間、より安全な防災行動を選択し、被害の軽減につなげることが重要です。

日向市で震度4の地震発生  
南海トラフの東側半分でM8級の地震発生

